

## 活動報告

団体名	ポピンズくまもと
活動名	7月豪雨に係る地域の気になる子どもを支援するための活動
活動期間	2020/10/01～2021/03/31
活動の成果	<p>「特別なニーズを持つ子どもと家族」への災害という場面での支援の難しさと、必要性を実感した活動だった。現地で活動している「支援者の心の支援」を含めた技術支援は、もっとも効果があり、今でも定期的の実施している。トラウマを抱えているかもしれない子どもたちへ、普通の子と共にどう接していけばいいのか？などの、悩みは尽きない。そんな時に複数の専門家が定期的に助言することにより、支援者が元気になれば、長期の活動を楽しみつつ展開できる気がしている。もう一つは、特別の支援とは関係なくしては持続できないということ。例えば病院から退院した後の子どものケアは、入院先の病院・学校のカウンセラー・地域での関わりと見守りが、連携を持って行われることが必要である。信頼関係を作った上での現地のスタッフと子どもたちへの継続的指導が、子どもと地域の回復につながるということが体験できたことは、大きな成果である。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>「災害支援で関わった子どもたち」への心配から始まった活動でしたが、助成金を頂いたことで、継続的な現地の訪問と、支援者へのアドバイスができ、被災地との信頼関係が作れました。手探りでしたが、やり方が少しわかりました。まず、地元の継続的な民間の支援者とつながることが、一番の方法だとわかりました。今後はこの経験を生かして、日常的な支援活動につなげて参ります。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初の予定を大幅に変更せざるを得ませんでした。結果的に個別支援中心になり、良かったと思います。本当にありがとうございました。また第三期も引き続き支援活動を継続しますので、よろしくお願い申し上げます。</p>

(活動のようす)

